

レジストリ・レジストラ 関連状況報告



ICANN86 Policy Forum / スペイン・セビリア

第76回ICANN報告会：2026年7月31日
株式会社インターリンク

Jacob Williams



86 | POLICY
FORUM

SEVILLE



<https://meetings.icann.org/en/meetings/icann86/herobanner.png>



ICANN86 Community Forum: レジストリ・レジストラ関連報告

スペイン・セビリア / 2026年6月8日～11日

-  GNSO: RrSG Membership Meeting –(レジストラ部会) × 2つのセッション
-  GNSO: RySG Membership Meeting –(レジストリ部会) × 2つのセッション
-  その他の参加セッション: CPH, DNS Abuse PDP × 4つのセッション

レジストリ・レジストラ部会話題

レジストラ部会の主要な話題

- DNS不正利用軽減PDP1(ADC)
- SSAD 補完勧告チーム(SRT)
- 15日間バリデーションウィンドウ(GAC案)
- UDRP — 被申立人支援／メールセキュリティ

レジストリ部会の主要な話題

- DNS Abuse PDP1(ADC)と「次のPDP」の順番
- SSAD 補完勧告チーム(SRT)
- 2026ラウンドの運用面・NTAG
- EPP拡張 → SPIRT

01

レジストリ・レジストラ共通

...

DNS Abuse / SSAD

レジストリ・レジストラ共通



DNS Abuse PDP1: Associated Domain Checks — 進捗

- 9つの検討課題(チャーター質問)をすべて検討し終わりました。初期報告書(Initial Report)の一手手前です。当初の予定より数か月早く進んでいます。
- 実効性のある不正利用の通報を受けたとき、レジストラは同じ登録者・同じアカウントの関連ドメイン名も調べる。この義務を新しく設けます(根拠はRAA 3.18.2)乗っ取られたドメイン名(compromised domains)は対象外です
- 会期中に「これは受け入れられない」という項目を洗い出し、ほとんどで折り合いがつけました。残っているのは2件(レジストラ側とIPC)です
- 成功要因は「狭いスコープをそのまま保つ」ことができました。

RrSG メンバー投票(予備勧告)

100%

PR3 — 合理的な調査の定義(21名)

100%

IG6 — 調査のタイミング(12名)

95%

IG5 — 有用と回答(13名中12名)

レジストリ・レジストラ共通

...



ADC: Associated Domain Check (残る2つの論点)

①

調査の起点 —「promptly」か、具体的な時限か

CPH(レジストリ・レジストラ)

RAA § 3.18.2 の「promptly(速やかに)」を維持し、Compliance のアドバイザリーで実例を示す

BC(ビジネスユーザー部会)

24時間以内に着手し、72時間以内に終える。ただし
少数意見にとどまる見通しです

②

「reasonably accessible data」を政策本文に書くか

IPC(知財部会)

政策本文へ格上げすべき

レジストラ

柔軟性を維持すべき — 収集義務のあるデータ = 低コストで参照できるデータ、ではない

レジストリ・レジストラ共通

...



「次のPDP」の優先順位争い

1

登録者の救済メカニズム

RECOURSE MECHANISM

NCSG(非商業部会)が人権と登録者保護を毎回持ち出し、議論が止まってしまうためです

PIR:ADCそのものに人権上の問題は小さく、問題は範囲外の「対処措置」の側にあります。だから専用のPDPで一度片づけるべきだ、という主張です

ICANN理事会議長やGACからも同じ指摘があったと報告されました

2

API／バルク登録

PDP2

レジストラ向けの安全策

AIエージェントはAPI経由で大量に登録します。つまりPDP2の対象に自然に収まるので、**チャーターの変更は不要**という整理になりました

チャーター変更は不要との整理

3

DGA / ボットネット

PDP3

PDPではなくベストプラクティス・トラックで並行する案

GNSOのPDPに縛られず ccTLD を巻き込める

レジストリ・レジストラ共通



SSAD 補完勧告チーム(SRT)

理事会が SSAD 本体 (EPDP Phase 2) を「費用に見合わない」として不採択 → 補完勧告チーム (SRT) を新設

2027年2月までに 18勧告 が目標になっています。

理事会は以下の4点を検討しています

- ①レジストラの参加を義務にするか
- ②プライバシー／プロキシの背後にあるデータ
- ③認証済みの法執行機関からの緊急リクエスト対応時間
- ④依頼者を認証する仕組み

ICANN86 では優先度レベル(緊急／通常、再分類権、緊急の誤フラグへの罰則)を議論

緊急扱いは全体の16%、レジストラが区分を変えたのは169件

部会のポジション(RrSG メンバー投票)

論点	結果
勧告の拘束対象は？ (文言が Contracted Party → Registrar に変更されていた)	Contracted Parties 90% → 元に戻すよう働きかけ
認証の技術要件はどこに書くか	実装ガイダンス 50% 政策に高レベル 25% 詳細 20%
対応時間は登録データポリシー(RDP)と揃えるか	RDP に揃える 76%

「認証 ≠ 自動開示」

レジストリ・レジストラ共通



15日間ベリフィケーションウィンドウ変更案

GAC の提案

現行の15日間の登録者ベリフィケーション変更して、ベリフィケーション作業が完了するまでドメインを有効化しない案が出ています

レジストラ側(RrSG)の反論

アビュース抑止効果が実証されていない — あるレジストラのデータではベリフィケーションの早さとアビュース発生に相関なし

更新・変更・移管時の扱いが不明 — 銀行・政府など重要インフラのドメインが停止するリスク

メールアドレスの誤記など、善意の登録者が被害を受ける

参考データ

ccNSO／TuCOWS のデータでも「アビュースドメインの 98% はベリフィケーション完了済み」— 登録者の本人確認とアビュース削減にはほぼ相関がない、という反論材料。

02

レジストラ

...

PPSAI / UDRP

レジストラ部会 (RRSG)



PPSAI IRT — プライバシー／プロキシ事業者の認定

- RDDSへの表示 — そのドメイン名がプライバシー／プロキシを使っていることをRDDSに表示するかどうか。PDPでは見送られましたが、IRTで再び議論になっています
- リセラーによるプライバシー／プロキシの提供 — リセラーを事業者として扱うべきか。ほかのコミュニティからは扱うべきだという声が出ています。あわせて、取引の各段階でデータをエスローすべきだという要求もあります

レジストラ部会 (RRSG)

...



UDRPをめぐる2つの話題

1 登録者向けの法律支援クリニック

Humberto Carrasco 氏 (北カトリック大学 学部長)

20% → 62.5%

チリのドメインの登録者の UDRP 勝率 (2010年 NIC Chile と開始)

.CL から gTLD へ展開中。昨年 ICANN の助成金を獲得

無料提供: 法科学生によるクリニック、教材・ガイド、二言語対応のAI法律アシスタント(開発中)

中小企業は UDRP に応答する知識も資力もない → レジストラ・ccTLD・UDRPプロバイダーに周知協力を要請

部会内では「アビューズの議論ばかりでなく、登録者の権利を可視化する取り組み」として好意的に受け止め

2 UDRPプロバイダーのメールセキュリティ

RrSG 会員投票

設問	結果
UDRPプロバイダーを騙る偽メールを受け取ったことがあるか	あり 25%
UDRP の連絡プロセスをより安全にすべきか	すべき 90%
望ましい手段	暗号化メール 75% セキュアなサイトログイン 50%
実装にかかる期間	2〜3か月 50% 1か月未満 22%

03

レジストリ部会 (RYSG)



2026ラウンドの運用面 / NTAG / EPP拡張 → SPIRT

レジストリ部会 (RYSG)



2026ラウンドの運用面

ブランド／地理系の会員から「8月中旬締切は企業の意思決定サイクルに合わない」(経営会議の承認、長い調達プロセス)。

部会内の見方は 延長は考えにくいーラウンド途中でのルール変更は公平性の問題になる。

より切実なのは「進行中の変更 (process churn)」

AGB・FAQ・TAMS の変更が申請期間中に続いている

支払いのテスト環境が用意されたのは、申請開始から約1か月後(6月4日)でした。

請求書が「受領後即払い」ー企業の net-30／net-60 と噛み合わない

Global Support への問い合わせに対して回答が返ってこない

* ICANNは「これまでに寄せられた質問」の一覧を公開する予定です

NTAG (新gTLD申請者グループ) の再始動に関して

ICANNは申請法人の連絡先を公開すると確認しました。リビールデーのあとに申請者を個別に誘えるようになります

リビールデー後は、同じ文字列を争う申請者が同席する場面が出てきます。競合の解決中は互いに接触できないため、気をつける必要があります。

初回会合は2027年春・リスボン予定です(10月のバリには間に合いません)

レジストリ部会 (RYSG)



EPP拡張レジストリ

EPP拡張レジストリ → SPIRT 送付

- 新gTLDのレジストリ運営者は独自のEPP拡張を使いたいと考えています。部会はBase RAからこの要件を削除させました。ところがRSPの評価では、「IANAに登録済みの拡張だけを使う」と申告させています。
- GNSOではSPIRT (Standing Predictability Implementation Review Team / 実装の透明性を確保するチーム) への調査・対応依頼をすることになりました。決しました。

今後の予定



- 2026年8月12日 新gTLD申請受付期間の終了(費用の支払期限は8月19日)
- 2026年10月17～22日 ICANN87 年次総会(バリ島)
- 2027年2月ごろ ADC初期報告書の意見募集(45日間)／SSAD SRT 18本の勧告
- 2027年時期未公表: ICANNコンプライアンスの「能動的な執行」
(proactive enforcement) アビューズの集中度と対応の
遅さで対象を選定。
- 2027年春 NTAG初回会合(リスボン)

THANK YOU



ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ

gTLD@interlink.ad.jp